

## 海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2019/08/01～2019/08/31)

### 1. 勉学の状況

後期の授業が始まって、早くもほぼ半分が終わってしまいました。今月の内で既にレポート課題が2つあり、毎週出されている読み物の課題との兼ね合いが難しかったです。今回も前期と同じく授業を3つ履修しているのですが、その内2つを1年生向けのものから2年生向けのものにレベルを上げたので、内容がより専門的になった分、読み物の量も2倍くらいに増えました。前期は頑張れば毎週チュートリアルが始まるまでには読み物を査読できるくらいの時間があつたのですが、今回は同じやり方では絶対に終わりません。ですので、先にレクチャーを受講した上で重要な点をいくつか把握しておいてから読み物に目を通すなどの工夫をしています。毎週の小テストの範囲内のものや、レポート課題にあつた Review article(既存の論文を読んで批評文を書く)のテーマになる論文等は査読をしないと厳しいのでそのようなものにはなるべく長く時間を割き、それ以外のはスキミングで内容をざっと把握するようにしています。ただ、私は以前からスキミングがずっと苦手だったので、読み始めるとどうしても査読になってしまい、結局直前まで休みなく読み続けてしまいます。ただダラダラ読んでいても何も変わらないので、この機会に苦手を克服し、効率的に時間を活用できればと考えています。

チュートリアルの方は、まだまだ課題があるな、と感じる毎日です。前期は右も左も分からず、

困っていても誰に助けを求めて良いか分からない状況でしたが、今期は早くから素直にチューターの先生に助けを求めることができました(笑)。どうやって手をつけたら良いか分からなかった課題の取り組み方を聞いたり、チュートリアル内でのディスカッションになるべくついていけるように前もってトピックを教えてもらえるように頼んでみたりしました。後者は、授業の直前まで先生が内容を練っているために前もって生徒に教えることが不可能だとの理由で無理でしたが、毎回授業内でホワイトボードにトピックや重要な点を箇条書きで逐一書き留めておくことで、視覚的にも分かるようにするという対策を打っていただきました。授業によってはパワーポイント等の視覚情報が無く、リスニングのみで苦戦することが多々あったので、このような対応はとてもありがたかったです。ただ、このような進歩があったものの、未だにディスカッションで積極的に発言ができないのが悩みです。前と違って話になんとかついていけるようになった分、少しずつですが意見を考える余裕もできつつあるのですが、まだまだしっかりとして意見にまとめて発信できるほどではなく、勇気を持って何か言ってみても、ちゃんとした形になっていないからあまり良い反応を得られません。その度に落ち込み、しばらく復帰することができず、辛いです。どうにか帰国までには自分で納得が行くほどの進歩ができればと思います。

## 2. 生活の状況

季節は真冬になりましたが、日本の冬に比べるとそこまで寒さは厳しくなく、晴れた日にはポカポカとしていて快適に過ごすことができます。日本にいる知り合いによると夏の暑さが厳しいようで、少し懐かしく感じるも、日本のジメジメとした夏よりもオーストラリアのさらっとした気候の方に慣れている自分もいます。

今月は生活面において特に大きな事も無かったので、前回に引き続き、私が普段過ごしているクレイトンキャンパスの環境について書いていこうと思います。今回は娯楽(?)面について書いていきます。今までの報告書の中でも触れたことはあると思うのですが、キャンパス内では様々な国の料理を楽しむことができます。以前マレーシア料理の写真を載せたかと思うのですが、他にも中国料理、ポルトガル料理、まだチャレンジしたことがないのですがお寿司を食べられるところもあります。価格帯は日本円で 1000 円前後くらいだと思うのですが、毎日 3 食をそのようなところで食べてしまうと流石にお金が無くなってしまうので食べる頻度は低いです。このようなご飯どころは主にキャンパスセンターという、名前の通りキャンパスの中心にある施設の中に集合しているのですが、その他にも図書館内や校舎内を含む至る所にコーヒーとサンドイッチといった軽食が食べられるカフェがあります。今期からはタピオカドリンクを出すお店もできて、連日お昼を過ぎると大行列ができています。

そしてキャンパス内には図書館が 3 つあるのですが、その中で一番大きな Matheson Library には映画やドラマの DVD がたくさん置かれている棚があり、英語のものだけでなく、韓国、中

国、そして日本のものもたくさん置かれています。こっちに来たら Netflix のような有料サービスを利用しないと日本の映像作品は見られないと思っていたのでとてもありがたかったです。おいてある作品にはコメディからシリアスなものまであり、チョイスの基準が未だによく分からないのですが、今まで観たことのある作品ばかりだったので有名作品がぎっしりと置かれている印象です。しかし、鑑賞するにあたっては、持っている DVD プレイヤーと図書館から借りた DVD のリージョンコードが一致していないと視聴することができない、という難点があります。私が日本から持ってきた DVD プレイヤーは日本発の DVD を見る時にはリージョンコードが合致しているので問題がないのですが、海外で発売された DVD だと内容が日本の作品でもリージョンコードが一致していないと視聴することができません。DVD プレイヤーの方のリージョンコードを変えることで解決することはできるのですが、コードの変更回数が限られているので、帰国する時に日本のリージョンコードになっていないと後が大変になってしまいます。こういうことを考えるとやっぱり有料サービスを利用したほうがよいのかな、と思うこともありますが、勉強にかなり時間を取られているので、月額料金の元を取れるほど観られないことから入るのをためらってしまい、結局、図書館の DVD をたまに観るようにしています。

このように、学内には意外にも娯楽があるのですが、それを楽しむにはやはりお金と時間が必要なので、そこまで贅沢できないのが現状です。すでに半年以上滞在したことでこのようなことが当たり前になってしまい、報告書に書くほどの内容なのかもよく分からないのですが、千葉大学ではあまり馴染みのない光景かな、と思い、今月はこのような内容にしてみました。



最近学内にできたお店のタピオカドリンク  
開店してすぐの午前中はあまり並んでいません



右のDVDは日本製だったので問題なくDVDプレイヤーに読み込まれましたが、

左のものは日本作品にも関わらず海外製だったのでリージョンコードの変更が必要でした